

結婚して

すべて日本へ来ました

平田 シヤネルの美容部長というのはどんな仕事なんですか。

モレシヤン 美容部長といいますと、トレーニング、それからPRとかプロ

モーションの担当です。

平田 そうすると、模範を示してゐるわけですね、ご自分で、こういうふう

美しくなるという。

モレシヤン まあ、そうですね。とても女としておもしろいお仕事ですよ。

連載対談・ちよぞ女に生まれけり

美人じゃないので

“魅力”で勝負しました

メグスに米つごころろ・モレシヤン(シヤネル美容部長) 米岡く人平田敬 米撮影米島内英佑

平田 若い時に一番最初になさったお

仕事は何ですか。

モレシヤン あのね、これはほんとうに私はとても不思議で、ステアツを上

がりました。最初のステアツはやつぱり日本でした。日本といいますが、

結婚してすぐ日本に来ましたね、十九歳で、それから二十一、二十二、三

四、五、二十六迄日本に居ましたね。あの時ですね、ます十九で二に來ま

した時、一番最初、やつぱり普通の、一般の——今でも一般ですけども、

ちよつとプロフェッショナルになりました。

したけど——あの時、何かたんでもないような、ばかばかしいような若者

でした、ほんとに、ほんと。

それであんまり——これはトライベ

ートの主入とうまくゆきませんでした、結婚してからすぐ。ですから、うまくゆ

きませんでしたから、準備したほうが

いいと思つた、離婚の準備。残念です

けど。やつぱりお金を、どういふふう

に女として自分でお金を、もうけるし

やなくていいけど、毎月ちゃんともら

うことが出来ますかという努力と勉強



をしました。日本でしたから、ますフ

ランス語を教えました。

米言葉、ことによその国の言葉を話す

のは、大変にむずかしい。マダム・モ

レシヤンは日本語が達者な外人さんな

のだが、それでも、この語り出してわ

かるように、日本人同士のお喋りとは

どこかズレている。だが、話をしてい

る間はそれを感じさせない。なぜか。

それは、彼女の豊かな表情と、手旗信

号のように花やかな手ぶりのためであ

て欲しい。

モレシヤン それでNHKが私に聞き

ました。あなたはフランス語を教えた

くないですか、テレビで、と聞きまし

た。私はもう恐ろしくて、恐ろしくて、

鼻が大きいし、目が何だかし、とて

も恥ずかしいでした。だからきつとテ

レビの映り方、どうでしょうねえ。い

や、でも何とかやつてみようという気

持ちで行きました。それで五年間続

きました(笑)、NHKで。それで、あ

る点では人気が出た、あの時。

平田 そう、有名になりましたね。

コロンビア・ユニバーシティ

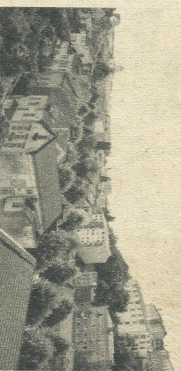
○ボルトガルはいま……
 去年の四月の革命は解決で
 なく、始まりにすぎなかつ
 た。左翼に政流が移り、アフ
 リカの植民地独立へと大きく
 動きながらも、国内では左翼
 内部の抗争でクーデターがあ
 りつぎ、政治は混乱をきわめ
 いる。この取材後も、アウケス



学生寮でボルトガル人の作った料理を食べる学生たち

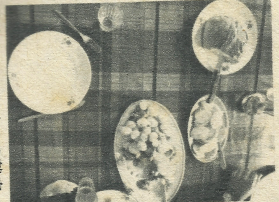
とアウケスの生涯はゆきふ
 りつづけていまだろう。
 ○アウケスの著書
 アウケスとアール・エル・レ
 ト・イリテシム。二十歳。
 ○アウケスの著書
 アウケスとアール・エル・レ
 ト・イリテシム。二十歳。
 ○アウケスの著書
 アウケスとアール・エル・レ
 ト・イリテシム。二十歳。

モンテネグロ治いのこの町は
 開けた。ローマ時代にはアエ
 ミエラと呼ばれていたが、
 のちに附近のローマ時代の遺
 イネラと名づけられた。
 一三九九年から一六六〇年
 までは国の主都であつた。そ
 の後官廷がリスボンに移った
 のちも宗教、芸術、学問の
 中心地として栄えている。
 ○コロンビアの泉の
 丘の上の大学。古い建物で

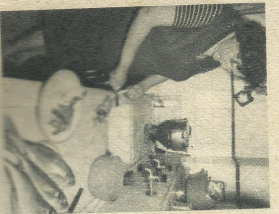


白壁が美しいコロンビアの町なみ

○ボルトガル人が特に公開す
 る学生向け、ボルトガル家庭料理
 ぶりのボルトガルで重要視
 されるのは料理の味というよ
 りもボルトガルである。トナ
 かくたぐさんたべる。トナ
 ばさんのはそれがさらに学生
 向きになっている。用意する
 材料は、四人分。
 ヒジジのヒレ肉三キロ、ジ
 ヤガイモ二キロ、ラード五十
 グラム、白ワインコップ半分、
 ニンニク二切れ、塩、コショ
 ウ、月桂樹の葉二、三枚、オ
 リーブ・オイル。
 まるでアロレス・サミダ
 題して、ボルトガル・サルデ
 ーダ・シニョ・コン・ロンボ。
 まりヒジジ肉とジャガイモの
 まぜ合わせ、といったところ。
 ①ジャガイモの皮をむき、ふ
 っとうした湯に入れてゆでる。
 ジャガイモは新ジャガの小さ
 の粒のものはよい。湯には塩
 を大さじ一杯入れる。



牛肉とジャガイモの献立



牛肉をばら切りにする

行事があるときなどは、学生
 たちは男女とも黒フントに黒
 い折かばんというスタイルで
 登校する。この大学の図書館
 は十五万冊の蔵書をほこり、
 内部の壮麗さとおわせて見の
 がせないもの。市内にはサン
 タ・クルス寺院や、古い城門
 アルコ・デ・アルメダイナな
 ど、中世のおもかけをそのま
 ま残した建造物が多い。
 街路は細くいり組み、石だ
 の下町でうたわれる市民の真



牛肉をばら切りにする



牛肉とジャガイモの献立

アウケスの散歩は一種のタイム・
 トラベルだといつてもいい。
 郊外を南に十七キロのどこ
 うにはローマ時代のものとも
 美しい遺跡といわれているコ
 ンブリガの遺跡がある。精密
 なモザイクは驚嘆に価する。
 ○コロンビア
 ボルトガルの民衆の歌フ
 トゥは大別すると、リスボン
 の下町でうたわれる市民の真

さらにジャガイモも煮る

牛肉とジャガイモの献立



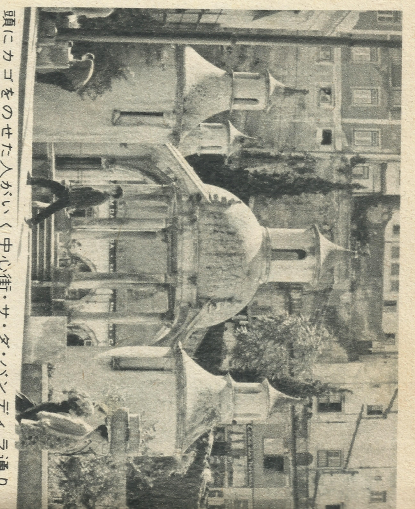
牛肉とジャガイモの献立

②羊肉を三センチ四角くらい
 にくくなるまで煮込む。
 ③肉をフライパンに移し、塩
 切り、肉とまぜ合わせる。こ
 のとき、ジャガイモの形がく
 ずれないように注意する。
 ④もういちど軽く火をかけ、
 アブラがジャガイモにしみ込
 んだところでできあがり。
 ⑤四人でぎつと七キロの食事
 だが、このほかにはサラダをた
 いらけ、まだものたらないと
 きはサバの塩焼きも追加され
 る。のものはワイン。

もつと広い世界のことを知らなくちゃ
つておけで、つくったクラブなのよ。
かれらは各国の大使館や領事館をま
わって基礎資料づくりに追われていま
す。おまけに、アウグストにはまだあ
ります。かれは、ふたりの女子学生に
英語を教えるアルバイトもはじめたの
です。カフェ「砂時計」の二階で一
間敷で約七百円という仕事。



日暮れ時ともなると、バーからはフョードラの闇にまぎれてくる

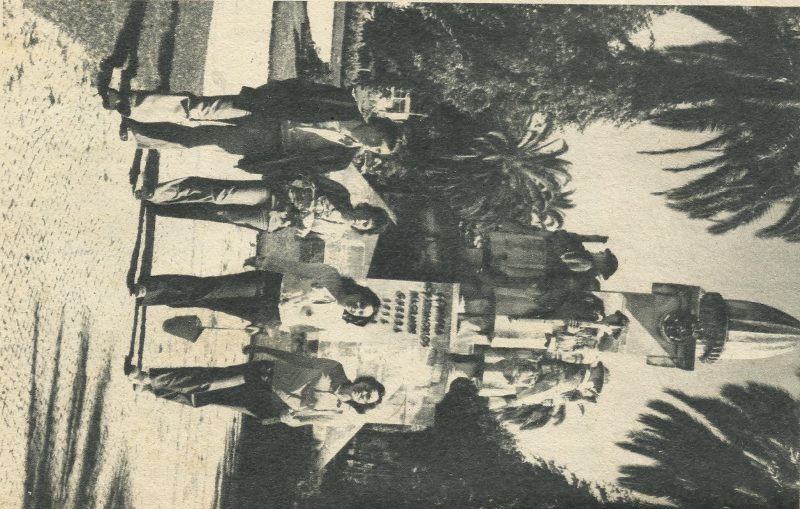


頭にカゴをのせた人がいく中心街・サ・ダ・ハバンディアラ通り

自分の針路はまぎれの中
こうして、大まかかわったかれらの
生活ですが、アウグストのレバブリッ
ク「かわい子ちゃん」どこへ行くの
でも、十年もまかないと掃除をして学
生たちのめんどうを見ているドナおほ
「なあに、ちこともかわつちやあい
けつきよく、若者たちはいつもなに
だから。」
まはむつかしい政治のことで夢中なん
どもたちときたら、まえば女の子、い
クでは、もう一回革命が必要だわ。子
かけて片づけばかり。このレバブリッ
たしは一日中女の子たちのあとを追っ
のかたずけもひとりじやでできない。あ
ませんよ。食器は汚し放題、ベッド

ませんよ。食器は汚し放題、ベッド
のかたずけもひとりじやでできない。あ
たしは一日中女の子たちのあとを追っ
かけて片づけばかり。このレバブリッ
クでは、もう一回革命が必要だわ。子
どもたちときたら、まえば女の子、い
まはむつかしい政治のことで夢中なん
「なあに、ちこともかわつちやあい
けつきよく、若者たちはいつもなに
だから。」
まはむつかしい政治のことで夢中なん

●旧市街にあるアルメディアオ塔



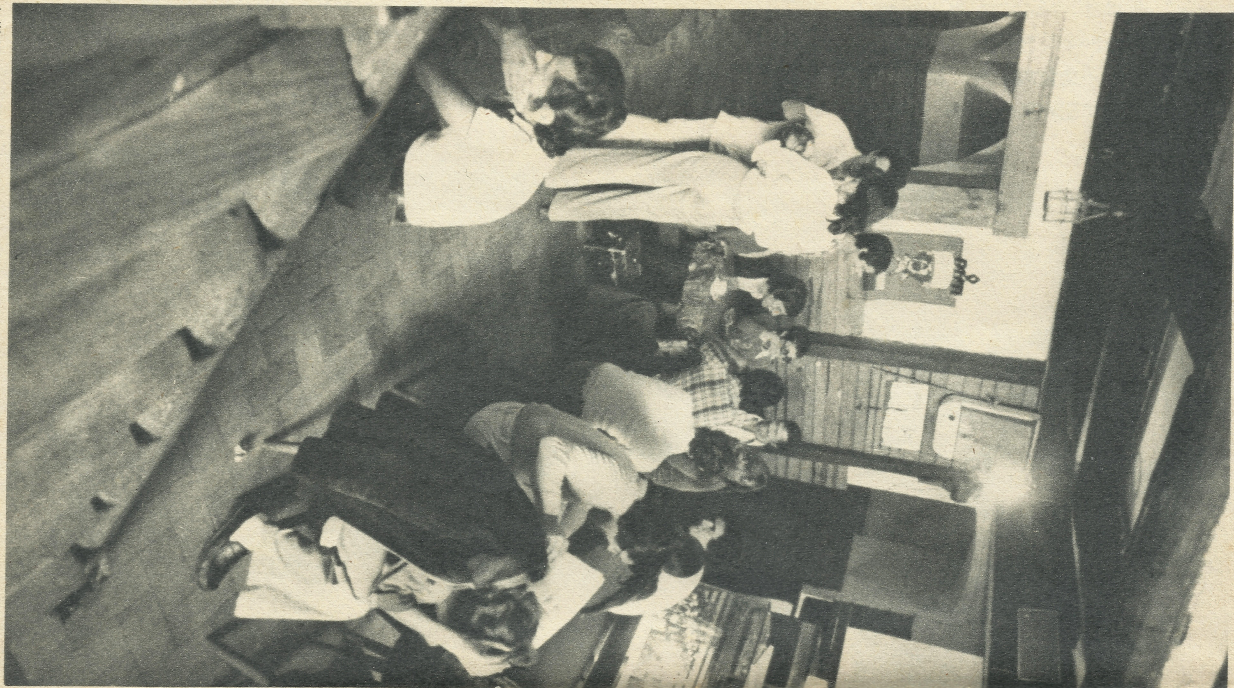
サ・ラ・ハバンディアラ公園を仲間と散歩する二人

革命から一年、ホルトガルはまだ激
動をつづけています。アウグストとイ
ザベルの学生生活も、政治のゆれによ
でしよう。しかし、ふたりはひとつの
つて、まだまだふりまわされつづける
ザベルの学生生活も、政治のゆれによ
ことを学んだのです。
政治がかわつて、ぼくたちの生き
ちや人生への対処法もかわつた。だけ
ど、ほんととは、ぼくたちが政治をかえ
てみるひまなどないのです。

かに熱中せずにはいられないのでし
う。いまは政治に夢中で、アウグスト
とイザベルもふたりだけで会うことな
どほとんどないと思います。けれど、
以前よりふたりはもっとお互いに理解
がすすんだといえます。なによりふた
りにとつてうれしいのは、四年間の兵
役がなくなつて、アウグストと別れな
くてもすんだことです。

はなりません。
それまでは、大学の授業が終ると、
午後はカフェ「砂時計」で夕方までぶ
らぶらするといふ怠惰な生活をしてい
たふたりですが、いまでは目のまわる

ような忙しさのまっただなかにいます。
——でも、この忙しさは楽しい忙しさ
——といえるな。生活に張りが出てきた
し。それまでいた趣味のチェスのクラ
ブにもオサラバして、いまはイサベル
界で生きていたってことに気づいたの。
なの。わたしたちは、あまりに狭い世
——これは革命のあとでできたクラブ
——メーション・クラブに入ってるんだ。
といっしょにツースト・インフオー



大学近くのカフェ「砂時計」は、午後ともなると相楽らずで満員

いう一種の学生寮が十五軒あります。
そのうち二軒は女子学生のためのもの
で、イサベルは「チーフの家」という
名のレバリックに住んでいます。も
ちろん男子禁制になっています。アウ
グストがいるレバリックは、なんと
「かわい子ちゃん」とこへ行くの」と

いう名のレバリックです。
これらのレバリックは革命まえは
政府の（大学ではなく政府であること
に注意）管理下に置かれていたのです
が、一年まえの四月二十五日以後、い
つきよに学生たちみずからの手に渡っ
たのです。

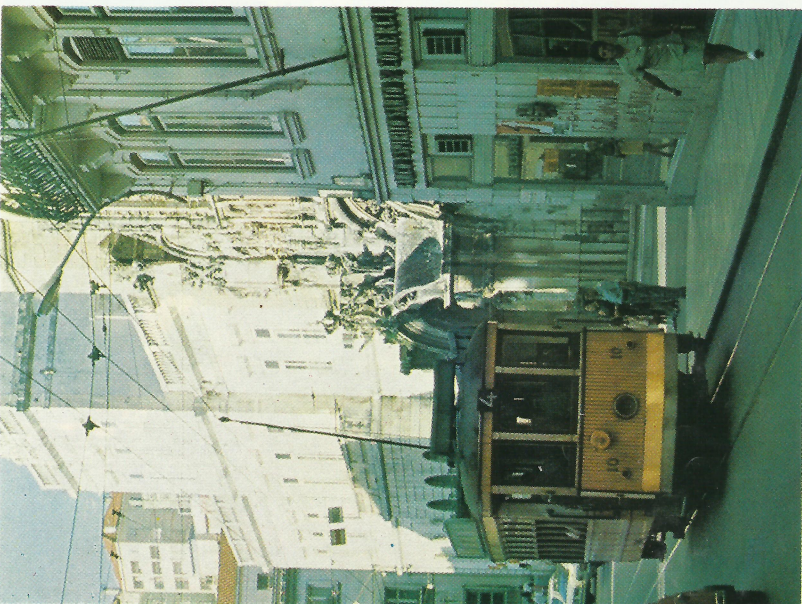
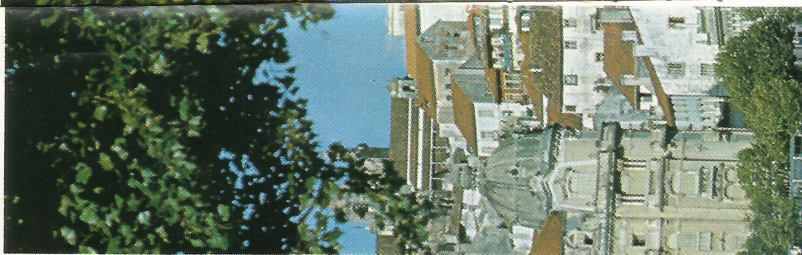
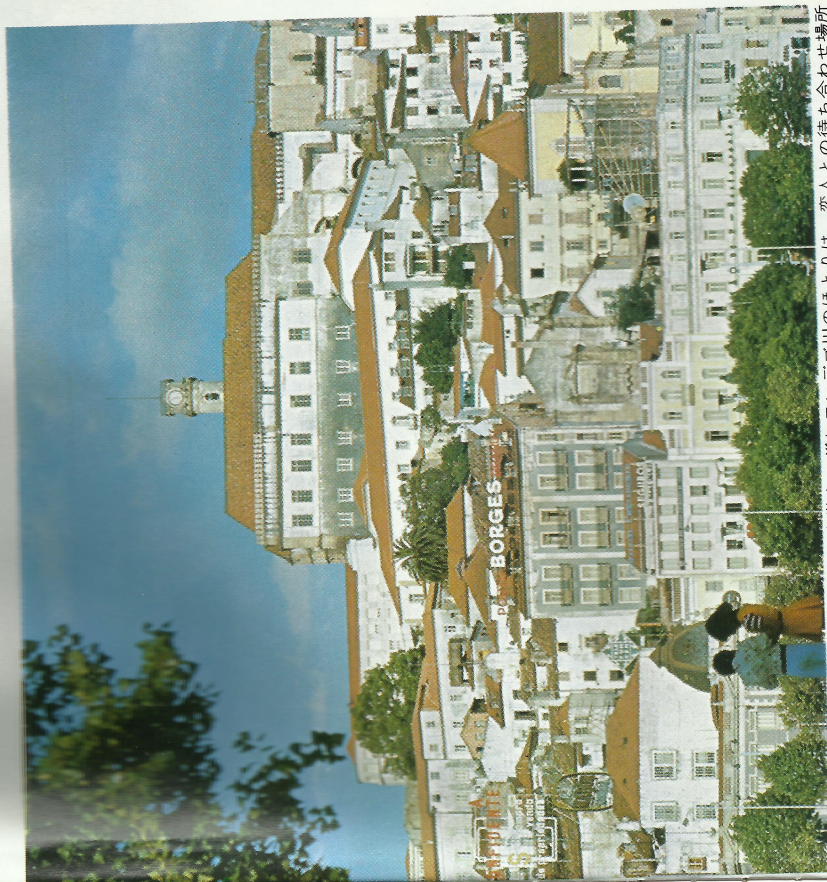
運営予算をたて、まかないや掃除の
おばさんの給料を心配し、食堂の買い
出しに頭をいためるなど、仕事は急い
ふえました。そのうえ、それまでは禁
止されていた左翼関係の本を読んで勉
強もしなければならず、革命後しばら
く空白だった大学の授業もうめなけれ



郊外に残る水路の遺跡を見学するツーストクラブの仲間たち

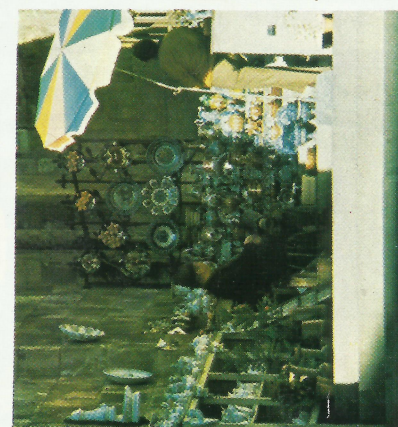
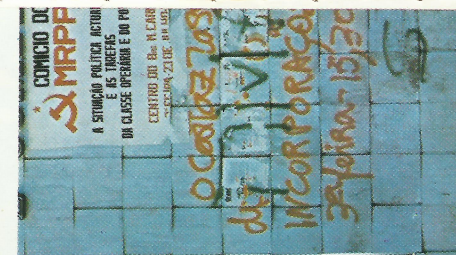


＝時間約七百円の英語の教えるバイトを始めたアウグスト



13世紀まで国の首都だったココンブアに住民は約6万人

な連中が一万二千人も集まっている大
学は、独裁政治への反対運動の拠点で
もあり、とうぜん政府は警戒をきびし
くして、電話すら盗聴していました。
そんな状態では学生生活が楽しかろう
はずがありません。
そんななかで、アウグストとイザベ
ルは、政治に無関心な無気力な学生だ
った、とかれらはいま反省しています。
——直接自分たちに関係があることな
のに、政治をよくするなんて不可能な
ことだとあきらめていたの。アウグス
トもわたしもそうだし、ほとんどの学
生がそうだったわ。



細かなコニヤンブリア模様の陶器を売る露店

ところが革命後、政治には関係ない
とすましてはいられなくなったのです。
学園の自主運営で大忙し
コインブラ大学にはレパリックと



国の針路に無関心でいられない。リパブリック広場のカフェで、アウグスト(中央)は政治談義に夢中

コインブラは、ポルトガルの中部にある石だたみの美しい古都です。かつてはポルトガルの主都だったこともあるこの町には、一二九〇年に建てられたという由緒ある大学があります。中世そのままの町かどに学生たちのうたうファドの歌声がひびくこの町は、観光客にとっては欠かすことのできない町ですが、そこの学生生活は、独裁政権下ではけっして楽しいものではありませんでした。

若者はいつも自由を求めます。そん



クラブ室でイザベル(左・2人目)は資料作り